

「第 3 ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」報告

第 3 ゾーン・RC 補佐 大之木 精二

◎第 3 ゾーンでは昨年 10 月に、杉谷 RI 理事ご出席のもと下記日程により標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

(1) 日時：2014 年 10 月 11 日（土）11：00～16：00 (2) 場所：広島市

(3) 対象：DG・GE・GN・AG・地区関係委員長

(4) テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び会員基盤の充実と公共イメージの向上

(5) 出席：60 名（ゾーン関係者共）

◎グループ 6 卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意見集約を次の通り記述します。

◎【ロータリー戦略計画】

・地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々 2 割程度で、それも十分機能しているとは言えない。 ・クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあってこそ可能との観点より、先ずは地区戦略計画（委）の指導力を高めクラブの戦略計画推進に尽力する。 ・地区・クラブ共中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。 ・関連的に CLP の実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべきである。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

・昨今人数に執着する余り、増強の真意（クラブ強化）の視点が欠けている傾向がある。 ・全国一律の数値目標を示したり常套的手法を奨励するのは如何なものか。 ・クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実な実施が肝要である。 ・ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。 ・既存会員が更なるロータリー学習と実践を深めて高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に繋がる。 ・人口減少の社会構造変化に対応してクラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併による基盤強化も積極的に検討すべきである。 ・E クラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。 ・増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。 以上